

# 広報

# いまり

市の人口  
2月1日現在  
総人口 63,943人  
男 30,093人  
女 33,850人  
世帯数 15,036世帯

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和44年3月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

№. 179



卒業おめでとう

(S44.2.20県立伊万里農林高校で)

高校の卒業式は、2月に終わった市内4高校の卒業生1,282人は、進学30%・就職60%・自営家事10%の割合で巣立った。就職770人のうち市内就職は、21%にすぎない。

3月15日は、中学生1,673人が卒業する。地元企業や関係者は、市内就職者がふえることを願っている。

### 市内高校ことしの卒業生の進路

| 学校名  | 進路    |     | 就職  |      | 自営<br>家事 |
|------|-------|-----|-----|------|----------|
|      | 卒業生   | 進学  | 計   | 市内市外 |          |
| 伊高   | 414   | 287 | 122 | 29   | 93       |
| 伊商高  | 352   | 26  | 306 | 50   | 256      |
| 伊農高  | 70    | 3   | 62  | 27   | 35       |
| 伊学園高 | 209   | 27  | 122 | 24   | 98       |
| 合計   | 1,282 | 372 | 770 | 164  | 606      |

### 広報こよみ

- 4日 米づくり運動推進大会
- 5日～4月6日 伊万里商工春まつり
- 7日 東山代町公民館大会  
大川町体力づくり大会
- 9日 黒川町公民館大会
- 10日 定例市議会
- 12日 寿大学修了式
- 13・27日 交通事故相談
- 15日 中学校卒業式
- 16日 レクリエーション講習会  
大川婦人会総会
- 20日 法律相談

- 22日 小学校卒業式
- 23日 山代町婦人会総会  
二里町婦人会総会
- 30日 市連合婦人会総会  
南波多青年団総会  
黒川青年団総会
- 4月1日 市制施行15周年記念式典

# 3月



# 総合農政 農業振興と取り組む に対応して

## 山口市長を囲んで農業放談会

2月13日、市内篤農家16人が集まり、山口市長を囲んで、農業放談会を開きました。

この会は、自主的グループで、市長に意見を述べ、農政に反映させようと、5年前から毎年3～4回開かれています。

### —みかん低温貯蔵庫は

東京に建設せよ—

**前田** みかんの暴落が3年ばかり早かった。市内には手入れされない幼木園が非常に多い。これらは植林したが伸びると思う。

**田代** みかんの暴落は、豊作となくないのが原因だ。

**前田** 東京に「いまみかん」の出張所を設けたがよい。

**田代** 低温貯蔵庫は、東京に建設すべきだ。冷蔵コンテナ輸送より効果がある。

**市長** 生産から消費者に買われるまでに、農協～選果所～市場～仲買～卸売の手を通しており、この流通過程をへらすべきだ。また、適地でない場所に樹園地を強引に作ったきらいがある。

**田代** 工場勤務や日雇いにでるため、摘果や施肥管理がおろそかになって、かんずめ用のみかんしか生産されていない地区がある。こんごは、味が重点になる。先進地は、糖度・甘味・酸味を規制しているので値段も高い。伊万里は規制してない。

い。技術員は、出荷時期を考えた栽培方法・施肥の高度化を検討している。うまいみかんを作らねば、他産地との競争に敗れる。

**井手** 赤土のみかんはしぶいとわかっていながら生産しているが、品種の選定をあやまつている。

**久保田** 20トンも生産している者さえ業種転換を考えているくらいだ。自然に淘汰されるとは思うが、この際、整理させるのも指導の一手段ではないか。

**立石** 自営青年が、災害復旧工事の日雇いにしかけているため、農業経営を放任しがちになっている。

### —融資は農民の腕に

金利も安く—

**立石** 農業関係の指導者は、朝市を見るべきだ。また、指導者は、市場価格に注目し、園芸振興を交通通信機関の発達と関連させて検討せよ。そ業園芸は、ビニールや暖房機具・殺虫剤などのめざましい技術進歩で生産はふえるいつほうである技術導入すると生産コストもあがる6月などは輸送園芸でも採算がとれ

なくなる。

**前田** 農協の肥料は高い。農家の生産物は、回転が少ないにもかかわらず金利も高い。農協は、担保がなくても農民の腕に融資すべきだ。後継者にも安い金利で融資せよ。

**市長** 農業近代化資金など低金利融資制度は、農協を通すため、金利の差額を市が負担している。

**久保田** 信連～農林中金に通じているためやむをえない。こんごは指導体制を強化し、融資を有効に生かすよう指導すべきだ。

**市長** 民間保険は、利益金で消防車などを市町村に贈っている。共済保険も利益金を農民に還元する方法をとればよい。また、世はコンピューター時代に入っているので、市や県・農協共同出資の計算センターを設立して事務費の節減を図り、将来は、農業経営診断にも活用するようすべしと思う。

**出雲** 切り花用の花木などに取り組んでいる。自分がやってみなければ人にもすすめられない。生産から販売までの流通過程の短縮を図らねばこれからの農業はなりたたないわたしの仕事は、手数がかからず山の中でもできるし、みかんにかわる作目として始めた。

**市長** 生活が豊かになると出張さんの仕事は有望だ。

保全地域というのがある。  
◆大都市はもはや人間の住むところではない。  
スモッグのもとで、コンクリートの家を建て、コンクリートの道路を走り、そしてコンクリートの職場に吸いこまれる。その中をロボットが歩いているのであればともかく、暑さ寒さを膚で感ずる人間が住んでいるから問題である。  
◆ストレスの解消には、太陽と緑がなければならぬ。太陽と緑は都会から遠ざかるほど多い。新幹線と飛行機の発達で、距離や時間は問題にならない。  
九州が、観光および環境保全地域とされるのが当然考えられてくる。  
これからの九州は自然の姿をこわさず、自然と調和のとれた発展を計画しなければならぬ。  
◆三月一日から七日までは幸い「緑の週間」であるから、みんなで九州の緑をふやし、九州の人々はますます健康に、そしてまた大都市の人々のレジャーには、澄みきった光と、清浄な空気を提供して、レクリエーションのオアシスとしたらどうであろう。





意見統出の農業放談会

—企業としてなりたつ

大規模養鶏事業—

金子博 10年前から1,000羽養鶏をやっているが、妻の養鶏労働は1時間半である。みかんは5ヘクタールで毎年50アールずつ増殖しているため資金は養鶏から投入している機械を全面活用をするためのみかんの適正規模は10ヘクタールと思う。みかん園の草刈りなどは自家発電を動力にしている。

久保田 卵価はほとんど値上げされていない。生産コストはあがるいっぽうなので、量でこなすほかはない。農繁期の家族全員の重労働を平均できるのは養鶏と考え5,000羽経営にふみきった。規模を大きくすると企業としてなりたつ。これから養鶏に取り組むかたは、実情に即した経営を行ない、最終的には自家努力だけの経営を考えるべきだ。鶏糞で収益をあげることは考えるな。

—牛乳の消費者価格を下げて

市場拡大を図れ—

森 牛乳は、生産者価格と消費

者価格の差が開きすぎる。安心して酪農と取り組むためには、中間マージンを安くし、消費者価格をさげて消費者をふやすべきだ。

前田 酪農家が他人の水田を借りて裏作で牧草を栽培したいときは農協があつせんすればよい。

市長 酪農組合は、はやく一本にまとまって大資本に対抗できるようにすべきだ。

—経営指導員を設け

計画的な経営を—

金子乙松 米は、いままでとれさえすればよかったが、これからほうまい米づくりに転換せねばならぬ

前田 みそやしょうゆと同じく米もうまくさえあれば高く買ってもよいというのが消費者の考えと思う

立石 米づくりはできるだけ機械化して生産コストをさげるべきだ

石丸 耕運機など3戸に1台あればフル運転できると思うが各戸に1台ある。農業機械は近所共同で購入するような協調手段をとったがよい。農協も無制限に機械を売らずに

効率的な設備投資を考えてやるべきだ。

前田 農協は、農家の消費性向を堅実な方向に育成すべきだ。果樹畜産などの技術的指導も重要であるが農業全般の経営を計画的に指導する指導員も設けるべきと思う。

—農業懇談会を設けたい—

市長 農業が転換期にあるとき伊万里市でも米・みかん・酪農などそれぞれ問題をかかえている。

若い人は、高い視野から問題の解決を図られたい。

総合農政に対応した伊万里市の農業は将来いかにあるべきかのビジョンと取り組むため、市・農協・農業委員会など各種農業団体に構成する農業懇談会(仮称)を設けたい。

農民のかたも農業は企業であることを認識し、責任と自覚と誇りをもっていたきたい。

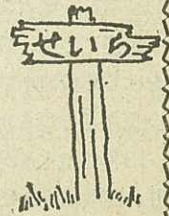
農業放談会出席者(50音順)

- 井手一馬(米・なし) 南波多
- 出雲昭徳(花木園芸) 東山代
- 梶原元継(みかん) 黒川
- 金子乙松(米) 東山代
- 金子博弥(養鶏・みかん) 山代
- 久保田昇(養鶏) 脇田
- 小杉信行(みかん) 波多津
- 田代政敏(みかん) 大川
- 立石元次(園芸) 東山代
- 前田知祐(みかん) 伊万里
- 松岡常雄(農業経営) 松浦
- 森 幸男(乳牛) 大川内
- 幹事(司会) 中島 章(伊農高)
- 〃 田畑 前(〃)
- 市長 山口正次
- 市農水課 石丸満馬

◆ところで、昭和六十年をめぐって、これからの二十一年間に、いまのヒズミをなくして、理想的な住みよい国造りをしようというのが、新全国総合開発計画である。この計画の中の九州の役割りはいろいろあるが、その一つに、観光および環境

◆ところが、一方では、人が急激にへって、病院もなくなれば、水道さえも維持できないところが出てきている。離島や山村、産炭地町村など、過疎地帯の現状がそれである。

◆三億円事件の捜査のためいっせいに自動車の検問を始めたとして、三十分後には東京都の路上を走るすべての車がストップしたてあるうといわれる。これが過密都市、東京の現状である。





# 市議会だより

## 議会運営を円滑に

全員協議会で申し合わせ

2月5日開いた市議会全員協議会は、議場でお茶をのまない・禁煙するなど議会運営を円滑にするため次のようなことを申し合わせました。

- 一般質問の順番は抽せんにする。
- 質問は要旨だけにして、重複質問はしない。
- 常任委員会の報告は、結果だけを簡単に報告する。審議するときに特に問題となり検討されたものは委員長が口頭で補充説明をする。
- 提案理由は、市長が一括説明する
- 議案の朗読はしない。
- 湯茶の接待を遠慮する。
- たばこはのまない。

### ◎文教厚生委員会

1月23日 と畜場運営について



## 馬場議員死去

馬場幹之市議会議員（55歳）が、1月28日、肝臓ガンでなくなりました。馬場さんは、松浦町の中野原区長をはじめ松浦小や松浦中学校の育友会長などをつとめました。

昭和42年4月から市議会議員になり、産業経済常任委員として活躍していました。

2月14日 ごみ焼却場位置変更について

### ◎建設委員会

2月21日 失業対策問題について

### ◎正副委員長会

1月22日 議会運営について

### ◎産炭地振興調査特別委員会

2月10日 答申後の経過について

## 市政パトロール

2月20日、山口市長は、山代東小、東山代小、南波多小の危険校舎改築と松浦公民館の新築状況を視察しました。

山口市長は、2～3年のうちに危険校舎は解消する見込みだ。こんごは、小学校の屋内運動場・プール建設などを計画的に進めたいと述べました。

（東山代小学校で）



鉾害復旧について

### ◎議会運営連絡協議会

2月3日 全員協議会の提出議題について

## 各課もお茶くみをやめる

市職員も2月中旬から勤務中のお茶くみを廃止しました。

湯のみを机の上に置いておくと、よく書類を濡らすとか、お茶をくばる時間がかかるなど、事務管理上も問題になっていました。

お茶をのみたい者は、湯茶を準備している一定の場所でのむことになっています。来客に対しては、いまままで以上に湯茶などサービスすることにしてしています。

## 水道料集金人かわる



中島剛集金人

水道料集金人がかかりました。いままでの中島義照さんが、市役所の警備員になり集金人をやめたため

す。新集金人の氏名と担当地区は次のとおり。

氏名 中島剛（43歳）

住所 大坪町下古賀

（徴収区域）

浜町・今町・立町・朝日町・元町・上土井町・下土井町・東八谷搦・中井樋・下松島・相生町・蓮池町・江湖の辻・川東・南川東・西八谷搦・内の馬場・金武・作井手・長井手・白野・祇園町・古賀・柳井町・東円造寺・六仙寺・平尾・市村・市山・福野



# 叙勲6氏を祝う



副島元市氏(79歳)  
松浦町中野原  
勲五等瑞宝章  
地方自治と農業  
の発展



古賀儀助氏(69歳)  
松浦町堤川  
勲六等旭日章  
消防行政



樋口亘氏(61歳)  
蓮池町  
勲七等瑞宝章  
警察官として  
治安維持



高添門司氏(71歳)  
大川町宿  
勲五等瑞宝章  
地方自治と社会  
教育振興



川原幾治氏(78歳)  
大川内町岩谷  
勲五等瑞宝章  
地方自治と農業  
の発展



故田中英治氏  
(昭和43年10月死  
亡当時78歳)  
勲六等单光旭日章  
地方自治と酒造業  
振興

昭和42・43年度に叙勲を受けられた6氏の祝賀会が2月8日、伊万里玉屋で開かれました。

山口市長は「本人だけでなく全市民の荣誉だ。こんごも健康に注意され、これまでの貴重な体験をとおして指導をお願いしたい」とお祝いのことばを述

べました。

副島元市さんは、受賞者を代表して「老年にはなつたが、力の限り努力し今日のご恩に報いたい」とお礼を述べました。

## 1時間に1,000円が灰に

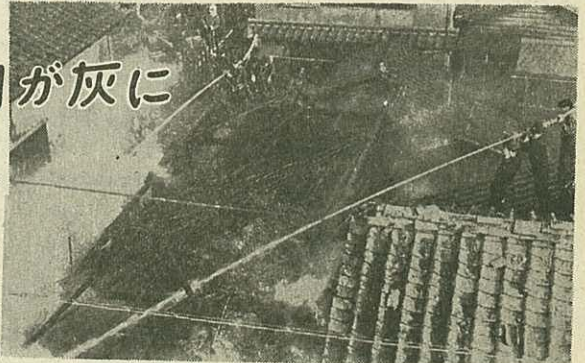
### 昨年の火災状況

市消防本部は、昭和43年中の火災発生状況を発表しました。

発生件数40件・損害額824万円です。昭和39年から43年までの5か年平均と比べると件数は、7件ふえています。しかし、損害額は886万円減少し初期消火の成果がみられます

11世帯・58人が焼けたされ、2人がけがをしました。

損害額824万円を市民1人当たりになおしてみると129円・1世帯当たり549円になります。1時間に

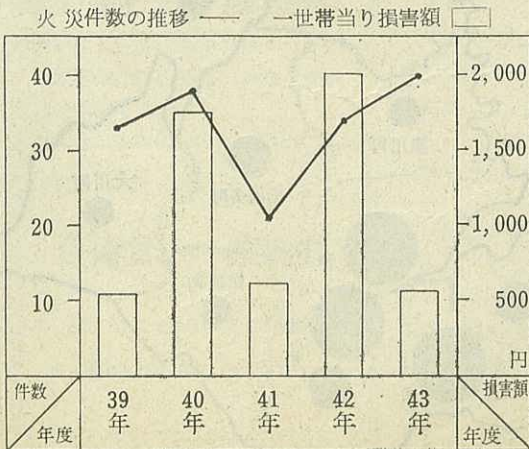


1,000円ずつ灰になつていくことになり。5か年平均では、1人当たり254円・1世帯当たり1,110円になります。

月別には、3月10件・4月8件が多く、約半分がこの月に発生しています。火災は、気

象条件に左右され毎年1月から4月に多発しています。たばこのふしまつ・マッチのもてあそびがそれぞれ6件・えんとつ・たき火6件をはじめ取灰のふしまつ・燃えさしなど原因のほとんどが不注意によるものです  
防火の第一歩は、ふだんの正しい火の取り扱いです。皆さんのご家族でも十分注意してください。また、火災になつたときのことを考え、避難・消火・連絡の方法などを話し合っておきましょう。

＝火事の連絡は119番へ＝







交通事故  
白書 市民の死傷371人

市交通対策協議会は、伊万里警察署の資料をもとにして、昨年の交通事故発生状況をまとめました。

昭和41年435件・42年523件だったのが、昨年は564件になりました。41年に比べて30パーセントの増です。1日平均1.5件発生したことになります。

分析の結果、家族ぐるみ・地域ぐるみで交通安全運動を進めねばならぬ地区があるようです。

死者は42年の2.3倍

昨年中の全国の交通事故死傷者は82万人で、41年に比べて60パーセント増加しています。

市内でも564件の事故で死者14人、負傷者523人がでています。死者は42年6人だったのが、昨年になると事故後24時間以内に死亡したかたも含めると19人になります。

月別には、12月が65件で最も多く、8月と10月がこれに続いています。一番少ない1月でも34件発生してい

人事異動 2月20日付

▷伊万里公民館長 日高 昇(労働課労政係長) ▷労働課労政係長 牧瀬義雄(福祉・家庭児童相談室) 福祉・家庭児童相談室 川添清(税務課)

ます。また、いままで、日曜の遊び疲れで月曜日に多いとか、中だるみの木曜日に多いといわれてきた交通事故も、昨年は土曜87件、金曜67件と発生件数が平均化してきました。

国道での事故全体の63%

天候別には、晴や曇りの日に1日当たり1.5件、雨の日に1.8件、雪の日に2.5件発生しており、雨や雪の日はスリップ事故が多いようです。

道路別には、国道202号線での事故が45パーセントで、204号線を含めると63パーセントになります。県

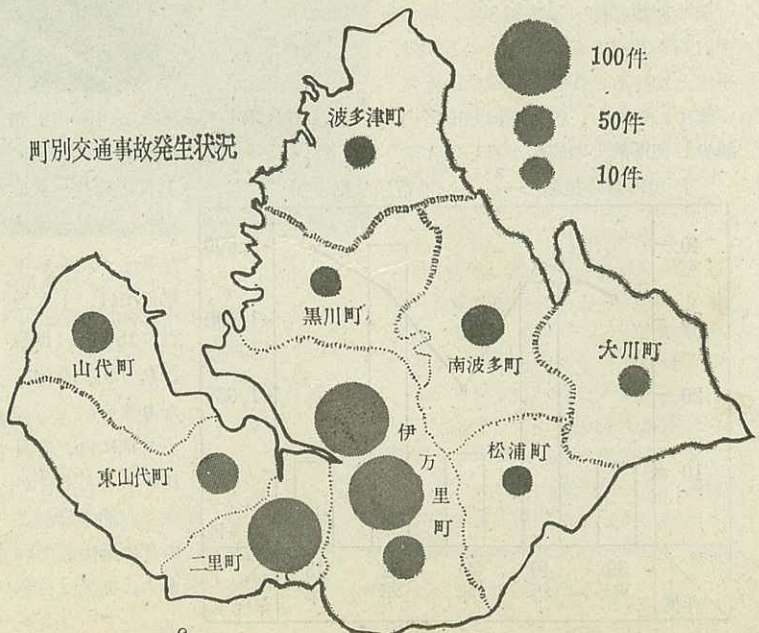
道も交通量の多い伊万里～武雄線・伊万里～呼子線で多発しています。国道ぞいの住民のかたは、十分注意してください。交差点やカーブ・坂道での事故が多くなっています。

事故の直接原因となった第一当事者は、トラックの職業運転手73件・農業65件・商業53件・建設業者43件・幼児30件の順です。わたしたちは、長距離トラックやダンプカー・幼児に注意しなければならぬようです。高校生が直接の原因になった事故も27件あり、学校での交通安全教育も徹底してもらいたいものです。

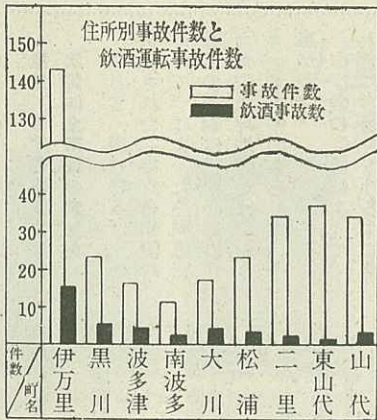
農村に多い飲酒運転事故

事故の直接原因をつくった市民は338人です。町別には、伊万里町が1,000人当たり6.7人で最も多く、黒川町6.6人、二里町5.9人が続いています。大川・南波多・山代の各町は3人前後です。

飲酒運転事故は、全事故の9パーセント・50件です。住所別の事故件数に対する飲酒運転事故の割合は、波多津町の25パーセントを筆頭に、黒川町22パーセント・南波多町18パーセント・松浦町13パーセントなど農村地帯に多いという結果ができました







**傷害保険は交通安全のお守り**

交通事故で死傷した市民は、371人です。人口1,000人当たり5.8人が死傷したことになります。このうち昨年5月発足した市民交通傷害保険に加入していた死傷者は、わずか38人にすぎません。加入者は、いつも交通安全の意識をもち、保険が「お守り」の役目を果たしているともいえます。

**補償金請求の相談がトップ  
交通事故相談に150人**

毎月、第2・第4木曜日に市民相談室で開いている交通事故相談所は昨年150人から相談を受けました。

被害者だけでなく加害者からの相談もあります。補償金請求45件・賠償責任保険請求手続30件などです。治療費・債務不履行・示談・慰謝料後遺症などの相談もあります。

交通事故の事後処理でお困りの場合はご相談ください。

陸上・海上・航空

**自衛官第4次募集中**

詳しいことは、市役所総務課にお問い合わせください。



班別登校している山代東小生徒

**交通安全で全国表彰**

**山代東小校区の努力みのる**

山代東小学校（武富靖之校長・生徒755人）は、交通安全教育で非常に秀れているとして、第9回交通安全国民総ぐるみ運動中央大会で、全日本交通安全協会から表彰を受けました。

同校は、昭和18年から班別登校を行なっていますが、交通事故がふえてきてからは、事故予防策としてそのまま踏襲されてきました。

父兄は、2年前から毎朝順番で4人が学校の東と西側の横断歩道の整理に当たっています。

ちかくの駐在所の署員や交通指導員も、毎日、登下校のとき、通学道路の整理に当たっています。また、交通教室を開く時は、全面的に協力するなど、駐在所の功績はみのがせません。

武富校長の話——晴れの全国表彰を受けたのは、父兄や駐在さんの積極的な努力の一語に尽きる。おかげで、交通量の多い国道204号線ぞいにありながら、この2年間、一人の学童も事故にあっていない。

**駐車禁止は厳格に**

**国道交通診断の結果**

県警交通部は、1月31日、2時間にわたって、国道202号線ぞいの伊万里管内の交通診断を行いました

当日は、警察庁科学警察研究所の大久保交通部長ら二人と警察の幹部国や県の道路管理者など33人が参加しました。

検討会の席上、大久保部長は、伊万里管内の交通対策について次のようにのべました。

- ▷ 二里町長井手橋ふきんは、追い越し禁止にすべきだ。
- ▷ 二里町川東橋の西側の有田方面への曲り角は拡張したがよい。
- ▷ 二里出張所東側の下り坂にはガードレールを設けねば、道路下にある人家も危険である。
- ▷ 西肥バスセンター前には、駅前四つ角と連動する信号機を設置せよ。

▷ 西肥バスセンターから西側の蓮池町は、国道の幅が広いので、歩道も設けるべきだ。

▷ 市街地では、国道から支線へ右折するのを制限する時機にきている。

▷ 駐車禁止は、厳格にする必要がある。

▷ 南波多町には、道路拡幅・すべりどめ工事、道路標識設置など、安全施設の必要な所が多い。

**市民交通傷害保険の更新**

市民交通傷害保険の契約期限は、4月30日です。契約更新の受け付けは4月から行ないます。

保険料は、1人1日1円（年間360円）で、いつでも加入できます。市役所の市民課か出張所、市内金融機関（農協を除く）の窓口で受け付けます。保険料と印かんをお持ちください。



〔意見〕市庁舎建設位置の決定は全市民の意見を

二月号「声のひろば」に掲載された「市庁舎建設について」はまったく同感だ賛否の議論は、中心部の伊万里や大坪地区だけでありコップの中のあらしという感が深い。

市庁舎の位置によって、生活に影響をうける中心部市民の関心が深いのは当然だろう。しかし、市役所は中心部だけのものではなく市民全体のものである。立花台地移転に反対している人は学識経験者の診断に対して、診断前

からすでに反対だときめているとの話もあったようだが意見も聞かずに反対する理由がわからない。

利害関係の多い人の意見は尊重しなければならぬが、関係の少ない市民の声も十分聞いてほしい。

伊万里町 一市民

【問い】予防接種のお知らせについて

伊万里町は、二月五日、婦人会館で香港ワクチンインフルエンザの予防接種が



声のひろば

行なわれた。広報車から聞いたためよくわからず市役所に確認して、二人のこともをわけてタクシーで出かけた。ところが、会場の係員は、昨年十二月に接種した人はしなくてよいといわれた。

「おこたえ」昨年のインフルエンザ予防接種は、小学生・保育園児・幼稚園児に新型香港ワクチンを使用、その残りを最終接種会場の伊万里地区で使用しました

急に指示があったため、広報紙で知らせる時間がなくやむなく広報車を利用しま

ことにご注意してもらいたい

▽広報車は一定場所に停めて放送しなければよく聞くとれない。

▽二度足ふまないように、前回の会場に貼り紙するなどの方法をとって

もらいたい

東新町 一女性

### 郵便貯金

#### 5兆円を突破

郵便貯金が5兆円を突破しました。明治8年に貯蓄業務を始めて以来創業当時、わずか1万5,000円の残高だったのが、昭和41年12月に3兆円、昨年1月4兆円、ことし2月には遂

に5兆45億円に達しました。千円札を積みあげると富士山の126倍になります。

郵便貯金は、市町村や住宅公団・公社などに融資して、住みよい町づくり・村づくりに役立っています。

お子さまの入学や卒業・就職記念に貯金をおすすめします。

した。五十メートルおきぐらいに停車して放送したため、「前回接種されていたか」という放送が聞きとれなかった点もあったかと思えます。こんご、放送は、よく聞きとれるように注意します。

山口保険衛生課長

### 市民の考古学

#### 自蛇山岩蔭遺跡①

「市民の考古学」を連載します。筆者は佐賀市本庄町在住の森醇一朗氏（東山代町出身・県立図書館資料課勤務）です。当初は、白蛇山岩蔭遺跡について4回にわけてお願いしました。

しかし、原始人が使った石器や土器の遺物がでていないことから、昨年9月6日から3日間、予備発掘調

査を行ないました。この調査は、本調査をする前に必ずやる調査で、はたして遺物が出土するか・どの地層から出土するか・いくつの層から成っているか・時代はいつからいつまでかなどを確認するためです。

予備調査には、木下文化財係長を責任者として、筆者が調査を担当、地元郷土史研究会・佐賀大学考古学研究会・国際経済大学生・地元高校生・中学生の協力で行なわれました

その結果、県内で二番目に発見された岩蔭遺跡であることがわかりました。上洞と下洞（二つの岩蔭からなる）からなる日本最大級の規模をもち1万5,000年前ごろから生活していた遺跡です。出土遺物が非常に多く、一番浅い岩蔭の奥で285センチメートルのたい積土があり、本調査でいままでも解明できなかった多くの問題点が解決できると期待しています。（4月号に続く）

白蛇山岩蔭遺跡は、国見山麓の裾野、東山代町脇野の岩戸山（標高約100メートル）にあります。

この遺跡は、昨年4月、歴史に興味をもつ浦川内の徳永重利さんによって貝塚として偶然発見されたものです。

徳永さんから連絡を受けたわたしはすぐ現地へ行きました。前方が杉の大木で覆われ気をつけねばわからないような場所です。

岩蔭が人間に使用された条件に、南か東に向いている・そばに川か泉がある・比較的の高い所にあることなどがあげられます。さらに、岩蔭は、冬暖かく、夏涼しいところから住居として最適だったようです。

白蛇山岩蔭は、これらの条件をすべて満たし、人間が生活したあと、いわゆる岩蔭住居（洞穴住居）にまちがいないと断定し、県教委文化財係へ連絡しました。



**市政モニター随時通信**

◎江湖の辻踏み切りは、無人の看守住宅とマサキの生垣で見通しが悪い。除去できないか。

おこたえ 市交通対策協議会・警察署・交通安全協会から門司鉄道管理局に何回でも要望しました。門鉄からは正式に回答がありませんが、マサキは除去できました。

(市総務課)

◎自動車の排気ガス・砂ぼりなどは公害だ。原付2輪車以上の車に500円から1,000円の付加税を課税し道路改良の財源にせよ。

おこたえ 7月1日から自動車取得税が創設されました。市町村道の改良に使われます。ご意見のような付加税を徴収することはできません

(市税務課)

土地改良課は、ことしの1月に新設しました。昭和42年の7.9災のあとは災害復旧が市の最重点施策になっています。農業土地基盤整備の促進も強く要請されています。そのため農林水産課から分離独立しました

庶務係は、工事の入札・契約・請負金の支払い・事業に伴う分担金寄付金の徴収など事業推進のための事務をとっています。

土地改良係は、土地基盤整備として圃場や農道の整備・かんがい用水排水施設・老きゆうため池の補強・干拓・海岸保全・農免道路の整備・水資源開発・常襲干ばつ地区の水資源整備事業などと取り組んでいます。

石炭採掘による鉱害の復旧・補償の指導・地すべり危険地域の指定や対策など人命財産の保護もこの課の



こどもたちに喜ばれている里遊園地

**東山代町里に  
児童遊園地**

東山代町里に児童遊園地ができました。部落内にある青幡神社境内の150平方メートルにブランコ・スベリ台・鉄棒・タイコ橋などの遊具施設が設けられました。

市・社会福祉協議会・共同募金配分金などから9万円の補助を受け、区民の寄付をあわせて20万円で完成しました。国道ぞいの部落であるため、こどもを交通事故から守り、遊

び場を作ってやりたいという父兄の努力がみのったわけです。親は、これで安心して仕事ができるかと喜んでいてます。

**保育園保母募集中  
申し込みは15日まで**

市立保育園保母を募集しています。昭和19年4月2日から24年4月1日までに生まれ、保母免許状をもっているかたが受験できます。

- ▶受験申込 3月15日までに受験申込書(必要事項を自書・写真貼付)を市総務課職員係へ提出すること
- ▶第一次試験 3月16日(日)9時 市教育委員会2階で教養と作文
- ▶合格発表 3月20日
- ▶第二次試験 3月22日(土)口頭試問と身体検査
- ▶合格と採用 合格者は、採用候補者名簿に登載し、そのなかから採用
- ▶初任給 (短大卒) 2万2,076円 (高卒) 2万68円



**農免道路とは**

農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業のことです。関係地区内の農産物生産額・農地面積・農業用機械台数などを参考にし、基準にあえば、農道の新設改良ができます。

43年度から県営事業として国見地区に延長2,515メートル、幅5.5メートルで建設が始まります。

**水資源開発事業とは**

農業生産の安定・増収を図るため圃場整備にあわせ水資源を開発するものです。これは県営事業で行なわれます。43年度から木須地区が調査地区の指定を受けています。

仕事です。

災害係は、農地・農業用施設の災害復旧を受けもっています。昭和42年の農林災害は1,536か所・被害総額14億9,915万円にのぼっていますが、45年度までに復旧を終わります

**災害復旧の進行状況**

| 年 度  | 箇所数   | 事業費        | 43年度までの完成分 |           | 進捗度   | 備 考     |
|------|-------|------------|------------|-----------|-------|---------|
|      |       |            | 箇所         | 事業費       |       |         |
| 41年災 | 10    | 845万円      | 4          | 357万円     | 42.3% | 44年度完了  |
| 42年災 | 1,095 | 14億5,968万円 | 587        | 8億4,005万円 | 57.6  | 45年度完了  |
| 々小災  | 441   | 3,947万円    | 300        | 2,680万円   | 100.0 | 141地区廃工 |
| 43年災 | 13    | 1,398万円    | 4          | 266万円     | 19.0  | 46年度完了  |



# 伊万里生活学校

## あなたの暮らしをよくするために

### 4月に生徒募集

いまの社会は、宣伝や広告に疑問をもちながら、商品のうずまきこまれそうです。品質表示・容量などに不満があっても相手に苦情をいうことがあつたでしょうか。ただ、主婦のつぶやきにすぎなかつたようです。

生活学校は、このような問題を話し合うだけでなく、解決していこうという主婦の学校です。

伊万里生活学校は、米を取りあげたことがあります。新米と古米の混合率を正しく表示し、規格を守るように米販に要請しました。その後、県婦人会連絡会が県内の新米・古米の混合率を実験検査した結果、古米

だけの配給をしていた地区もあつたそうです。伊万里地区はほとんど規格どおりの混合率ということでした。また、ナメクジの異常発生に対して、市保険衛生課・伊万里保健所の指導を受け、町内21部落で一斉駆除をしたこともあります。

生活学校は、勉強したいという主婦が中心になって、日常生活の中で

困っている・疑問がある・希望したいことなどをみんなで出し合い、解決し、みんなの暮らしと社会を良くするのがねらいです。

そのため、主婦をはじめ、物を作る人・売る人・研究する人・関係行政機関などが集まって問題を解決しています。

あなたの暮らしを良くするため生活学校にはいりになりませんか。ことしは、5月から開校予定です。毎月1回開きます。広報いまり4月号で申込方法などお知らせします。

詳しいことは、伊万里公民館にお問い合わせください。

## 各町に献血組織を

### 43年度は目標達成

伊万里保健所管内(伊万里市・有田町・西有田町)の献血運動は、皆さんのご協力で2年連続して目標1,150本(うち市内842本・1本200cc)を達成1,209本になりました。

伊万里市では、青年会議所や青年団・婦人会などの団体がおんどをとって献血運動を進めてきました。

しかし、交通事故や手術のための血液事情は依然として悪く、緊急の血液確保は容易ではありません。

これを解決するには、地区ごと、職場ごとに献血組織をつくるほかは

ありません。

伊万里保健所は、各町に、献血組織がはやくできることをのぞんでいます。

#### 昭和33年度の献血状況

|      |      |      |    |
|------|------|------|----|
| 伊万里町 | 316本 | 松浦町  | 84 |
| 波多津町 | 64   | 二里町  | 84 |
| 南波多町 | 51   | 東山代町 | 95 |
| 大川町  | 57   | 山代町  | 91 |

血液についての相談・献血の申し込みは、市役所・公民館・保健所で受けています。

### 早く良くなって

#### 赤痢患者に保健飲料を無料配達

昭和40年12月の伊万里保育園をはじめ、昨年は大川町・大川内町・二里町などで赤痢が集団発生したことがあります。

佐賀県ヤクルト販売KK伊万里出張所は、1日も早く良くなってくださいと毎日、入院患者にヤクルトを無料配達して喜ばれました。これからもつづけることにしているそうです。

赤痢などの予防にふだんから次のようなことに心がけましょう。

- 炊事や食前の手洗い励行
- ふきんやまな板の熱湯消毒
- 冷蔵庫を過信しない(赤痢菌は寒さに強い)
- 用便後の手洗い
- チョットの下痢でも医師にみせる
- 赤痢であれば必ず隔離する

### ベルマーク運動にご協力を

小中学校は教育設備を充実するため、ベルマークを集めています。市内の小中学校26校のうち半数以上の学校がこの運動に参加しています。伊万里小学校は、これまでに約26万円の助成を受け、施設や備品購入資金に当てました。

キャラメル・チョコレート・石けん・歯みがきなど日用品から食料品

調味料・文具・衣料品などのメーカー62社がこの運動に参加しています。参加している商品の包装紙か箱に、ベルマークや「教育設備助成参加」と印刷されています。商品の値段に応じて点数がつけられ、1点を1円に換算し、教材購入の資金になっているのです。

包装紙は捨てる前にもう一度見てください。マークが印刷されてあれば、児童にお渡しください。

一伊万里市小中学校長会一



# 農業は若者の手で

文部省指定の黒川町青年学級農業クラブ(柳本常任委員長)は、昭和42年から毎月1~2回集まり、水稻土壌・果樹など農業経営の勉強をしています。

同クラブは、農村後継者として農業に従事している若者21人で構成しています。平均年齢は20歳、5人は女子です。

2月11日には、県園芸連黒川駐在鶴田技術員から「みかんのせんてい」について実習と講義を受けました。

黒川町青年学級生96人は、農業クラブのほか、洋裁クラブ・機関誌クラブのいずれかに加入し、それぞれ



現地でみかんのせんていを習う青年たち

勉強しています。ことし、なにを勉強するかは、各クラブの4月会合の

おり、クラブ会員の話し合いで決めることになっています。

## 伊万里商工春まつり

3月5日~4月6日

「伊万里商工春まつり」が、3月5日から4月6日まで開かれます。

商工業を振興させようと、市や商工会議所がおんどをとって、商工団体といっしょになり、ことし初めて開くもの。

- ▷商店街共同宣伝大売り出し  
3月5日~4月6日
  - ▷陶器市(駅通り中心)  
4月1日~4月6日
  - ▷自衛隊音楽隊のパレード  
4月1日
  - ▷優良店員表彰  
4月3日
  - ▷歌手北島三郎公演  
4月4日
  - ▷顧客サービス産業観光施設案内  
4月5日
  - ▷事業所対抗野球  
3月30日~4月6日
- 春まつりの詳しい内容は、3月15日号おかさ版でお知らせします

## 春の火災予防運動

よる9時に火の元点検を

よる9時のサイレンで火の元点検をしましょう。3月13日まで「春の火災予防運動」が行なわれます。期間中は、よる9時にサイレンを鳴らします。火事とまちがえないようにしてください。

## 伊万里観光小唄レコード 予約受付

伊万里観光音頭・伊万里観光小唄のレコード購入希望者はありませんか。昭和38年、伊万里で開かれた県民体育大会のマスゲームに使用したレコードです。

いままで、いろいろの会合やレクリエーションなどに利用されてきましたが、近く原盤が廃棄されます。こんど、このレコードが欲しくても手にはいりません。

- ▶申し込み先 伊万里市教育委員会 社会教育課または各町公民館
- ▶しめきり 3月20日
- ▶代金 300円(申し込み枚数で変更になることがあります)
- ▶予約金 200円を申し込みと同時に納入、現品引き渡しするとき精算します。

## ◎◎ 駅 だ よ り ◎◎

4月1日から運賃が改正になります。しかし、3月中に申しこみ、6月末日までに旅行される団体については、旧運賃でよいことになっています。団体旅行は、早めに申しこんでください。

### △ 南紀州観光団体旅行募集中

募集人員 100人

会 費 2万5,300円

期 間 3月20日~3月25日

☆ 旅行・手荷物・貨物・その他鉄道についてのご相談は伊万里駅をご利用ください。お電話いただければ出張相談にも応じます。

## 農 地 相 談

- 3月11日・12日 9時~16時  
南波多出張所
- 3月12日・13日 9時~16時  
二里出張所
- 3月14日 9時~16時  
15日 9時~12時 大川出張所
- 3月17日・18日 8時30分~17時  
松浦出張所
- 3月19日・20日 9時30分~16時  
波多津出張所



乳 児 検 診

- ▶対象者 昭和43年3月1日から昭和44年2月28日までに生まれた乳児
- ▶検診内容 体重計測・診察・保健指導
- ▶時間 各会場とも1時30分から3時まで
- ▶場所
  - 3月10日 黒川出張所
  - 12日 松浦出張所
  - 13日 南波多出張所
  - 14日 波多津出張所
  - 17日 大川出張所
  - 19日 東山代出張所
  - 20日 山代出張所
  - 24日 二里出張所
  - 25日 柳井町公民館  
(大坪・大川内)
  - 26日 柳井町公民館  
(伊万里・牧島)

百日せき・ジフテリア・種痘  
予 防 接 種

- ▶対象者  
百日せき・ジフテリア混合1期  
43年6月1日～43年11月30日の出生児
- 百日せき・ジフテリア混合2期  
42年1月1日～42年6月30日の出生児
- 種痘1期=43年6月1日～43年11月30日の出生児
- ▶日時と場所  
百ジ1期(3回接種)=1回目  
3月13日 1.30～3.00 山代出張所  
18日 〃 〃 二里出張所  
19日 〃 〃 柳井町公民館  
28日 〃 〃 婦人会館
- 百ジ2期・種痘1期  
3月17日 1.30～3.00 山代出張所  
24日 〃 〃 二里出張所

緑の羽根募金運動

3月1日から1週間は「緑の週間」です。  
荒廃した林野・伐採あとなどに植林をして、木材の生産・水源林の確保・災害の防止・都市の美化・大気の浄化など国民の健康増進に役立てるのが目的です。  
小・中・高校の児童生徒の手で行なわれる学校植林・学校の環境緑化活動は、豊かな人間性を養ううえからもたいせつなことです。  
毎年この時期に行なわれる「緑の羽根募金運動」は、公有林・学校林記念林など公共的植樹の資金にするため行なうものです。ご協力ください。ことしは、大川中学校が県指定を受け学校林の育成に努めます。そのほか、2校が地区の指定を受け活動する予定です。

- 壹万円 原美千枝(上松代町川内野 亡父熊次)
- 参千円 山本末男(東山町 亡父織之助)
- 五千円 福田修一(立花島町 亡父幸義)
- 参千円 山口美里(上松町 亡父幸義)
- 五千円 川内タマ(東山代町長浜 亡次男俊一郎)
- 参千円 山口美里(上松島町 亡父幸義)
- 五千円 福田修一(立花町 亡父織之助)
- 参千円 山本末男(東山代町川内野 亡父熊次)
- 壹万円 原美千枝(上松代町川内野 亡父熊次)

- 壹万円 石井知之(立町 亡父庄太郎)
- 五千円 居石静子(東松浦郡相知町平山 亡夫松美)
- 貳万円 林与助(山代町 立岩 亡妻エツ)
- 壹万円 木須鶴次(木須町東 亡父熊太郎)
- 五千円 居石静子(東松浦郡相知町平山 亡夫松美)
- 貳万円 林与助(山代町 立岩 亡妻エツ)
- 壹万円 石井知之(立町 亡父庄太郎)
- 五千円 川内タマ(東山代町長浜 亡次男俊一郎)
- 参千円 山口美里(上松島町 亡父幸義)
- 五千円 福田修一(立花町 亡父織之助)
- 参千円 山本末男(東山代町川内野 亡父熊次)
- 壹万円 原美千枝(上松代町川内野 亡父熊次)

- 参千円 津上幸江(木須町東 亡祖母サト)
- 壹万円 木須鶴次(木須町東 亡父熊太郎)
- 五千円 居石静子(東松浦郡相知町平山 亡夫松美)
- 貳万円 林与助(山代町 立岩 亡妻エツ)
- 壹万円 石井知之(立町 亡父庄太郎)
- 五千円 川内タマ(東山代町長浜 亡次男俊一郎)
- 参千円 山口美里(上松島町 亡父幸義)
- 五千円 福田修一(立花町 亡父織之助)
- 参千円 山本末男(東山代町川内野 亡父熊次)
- 壹万円 原美千枝(上松代町川内野 亡父熊次)

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。(敬称略)

社会福祉事業費へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 力武ツマ(上黒尾町 亡夫哲二)  
○五千円 中山通(大川町 川西 亡父俊市)  
○壹万円 瀬戸口一男(立花町西四 亡母ツギ)  
○参千円 津上幸江(木須町東 亡祖母サト)  
○壹万円 木須鶴次(木須町東 亡父熊太郎)  
○五千円 居石静子(東松浦郡相知町平山 亡夫松美)  
○貳万円 林与助(山代町 立岩 亡妻エツ)  
○壹万円 石井知之(立町 亡父庄太郎)

- 参千円 松尾義満(木須町西 亡父作一)
- 壹万円 栗原留治(波多津町辻 亡長男茂)
- 壹万円 大川内九一(立花町西四 亡三女国子)
- 壹万円 久保田吉太郎(浜町 亡妻イネ)
- 壹万円 堀田軍一(大川町長野 亡長男昭八)
- 五千円 広川シカ(山代町浦之崎 亡夫重雄)
- 五千円 山田サク(大川町立川 亡夫忠次郎)
- 四千元 前川藤雄(二里町大里 亡父藤平)
- ▼篤志寄付  
○壹千円 篤名(牛込局 消印)
- 教育振興奨励基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 力武ツマ(上黒尾町 亡夫哲二)
- 貳万円 古賀良一(松浦町村分 亡母チモ)

- 参千円 松尾義満(木須町西 亡父作一)
- 壹万円 栗原留治(波多津町辻 亡長男茂)
- 壹万円 大川内九一(立花町西四 亡三女国子)
- 壹万円 久保田吉太郎(浜町 亡妻イネ)
- 壹万円 堀田軍一(大川町長野 亡長男昭八)
- 五千円 広川シカ(山代町浦之崎 亡夫重雄)
- 五千円 山田サク(大川町立川 亡夫忠次郎)
- 四千元 前川藤雄(二里町大里 亡父藤平)
- ▼篤志寄付  
○壹千円 篤名(牛込局 消印)
- 教育振興奨励基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 力武ツマ(上黒尾町 亡夫哲二)
- 貳万円 古賀良一(松浦町村分 亡母チモ)

- 参千円 松尾義満(木須町西 亡父作一)
- 壹万円 栗原留治(波多津町辻 亡長男茂)
- 壹万円 大川内九一(立花町西四 亡三女国子)
- 壹万円 久保田吉太郎(浜町 亡妻イネ)
- 壹万円 堀田軍一(大川町長野 亡長男昭八)
- 五千円 広川シカ(山代町浦之崎 亡夫重雄)
- 五千円 山田サク(大川町立川 亡夫忠次郎)
- 四千元 前川藤雄(二里町大里 亡父藤平)
- ▼篤志寄付  
○壹千円 篤名(牛込局 消印)
- 教育振興奨励基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 力武ツマ(上黒尾町 亡夫哲二)
- 貳万円 古賀良一(松浦町村分 亡母チモ)

鳥町 亡夫亮)

○参千円 松尾義満(木須町西 亡父作一)

○壹万円 栗原留治(波多津町辻 亡長男茂)

○壹万円 大川内九一(立花町西四 亡三女国子)

○壹万円 久保田吉太郎(浜町 亡妻イネ)

○壹万円 堀田軍一(大川町長野 亡長男昭八)

○五千円 広川シカ(山代町浦之崎 亡夫重雄)

○五千円 山田サク(大川町立川 亡夫忠次郎)

○四千元 前川藤雄(二里町大里 亡父藤平)

▼篤志寄付  
○壹千円 篤名(牛込局 消印)

教育振興奨励基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 力武ツマ(上黒尾町 亡夫哲二)

○貳万円 古賀良一(松浦町村分 亡母チモ)



- 五万円 馬場繁(松浦町中野原 亡父幹之)
- 五千元 市原一(山代町久原一区 亡妻オヨセ)
- 貳万円 山口房一(二里町江湖の辻 亡叔母吉島トモ)
- ▼篤志寄付  
○壹万円 西満政・春見(瀬戸町中通 結婚記念)
- 市庁舎建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○五万円 前田勇一(二里町作井手 亡妻陽子)
- 市民会館建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 前田貞一(大坪町祇園町 亡母キヨ)
- 壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)
- ▼篤志寄付  
○参千円 川原鶴次(松島町)
- 交通安全対策協議会へ  
▼香典返しを寄付  
○五千元 中野権六(山代町峰 亡妻ヨシ)
- 消防費へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)

- 五万円 馬場繁(松浦町中野原 亡父幹之)
- 五千元 市原一(山代町久原一区 亡妻オヨセ)
- 貳万円 山口房一(二里町江湖の辻 亡叔母吉島トモ)
- ▼篤志寄付  
○壹万円 西満政・春見(瀬戸町中通 結婚記念)
- 市庁舎建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○五万円 前田勇一(二里町作井手 亡妻陽子)
- 市民会館建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 前田貞一(大坪町祇園町 亡母キヨ)
- 壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)
- ▼篤志寄付  
○参千円 川原鶴次(松島町)
- 交通安全対策協議会へ  
▼香典返しを寄付  
○五千元 中野権六(山代町峰 亡妻ヨシ)
- 消防費へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)

- 五万円 馬場繁(松浦町中野原 亡父幹之)
- 五千元 市原一(山代町久原一区 亡妻オヨセ)
- 貳万円 山口房一(二里町江湖の辻 亡叔母吉島トモ)
- ▼篤志寄付  
○壹万円 西満政・春見(瀬戸町中通 結婚記念)
- 市庁舎建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○五万円 前田勇一(二里町作井手 亡妻陽子)
- 市民会館建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 前田貞一(大坪町祇園町 亡母キヨ)
- 壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)
- ▼篤志寄付  
○参千円 川原鶴次(松島町)
- 交通安全対策協議会へ  
▼香典返しを寄付  
○五千元 中野権六(山代町峰 亡妻ヨシ)
- 消防費へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)

○五万円 馬場繁(松浦町中野原 亡父幹之)

○五千元 市原一(山代町久原一区 亡妻オヨセ)

○貳万円 山口房一(二里町江湖の辻 亡叔母吉島トモ)

▼篤志寄付  
○壹万円 西満政・春見(瀬戸町中通 結婚記念)

市庁舎建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○五万円 前田勇一(二里町作井手 亡妻陽子)

市民会館建設基金へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 前田貞一(大坪町祇園町 亡母キヨ)

○壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)

▼篤志寄付  
○参千円 川原鶴次(松島町)

交通安全対策協議会へ  
▼香典返しを寄付  
○五千元 中野権六(山代町峰 亡妻ヨシ)

消防費へ  
▼香典返しを寄付  
○壹万円 丸田正文(大坪町柳井町 亡父国雄)

(S44・2・20現在)